

学びのきほんと 自主学習の手引き

平成29年度改訂

・本校の学習の基本形

(学校全体で共通認識のもと取り組む内容)です。

札幌市立西小学校

学びのきほん

学習のとき

①学習に必要な持ち物

☆毎日の学習に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。
(持ち物すべてに記名を)

【筆入れの中に】

- ・けずった鉛筆（5～6本） ・ネームペン（油性）
- ・赤ペンと青ペン（1・2年生は赤と青の色鉛筆）他の色は、学年で決めます
- ・定規（15cm程度の筆入れに入るもの）
- ・消しゴム（ねりけしではなく、よく消えるもの）

【道具箱や机の中に】

- ・のり ・はさみ ・色鉛筆（クーピーなど） ・三角定規（2年以上）
- ・コンパス（3年以上） ・分度器（4年以上） ・セロテープ
- ・その他各年で必要なものは、各々の学年でお知らせします。また、低学年のはさみについては、担任保管とします。

②しっかり話を聞く

☆人の話を聞くことで、自分の理解が深まります。

- ・話す人の方を向いて聞く。
- ・うなずくなどの反応をしながら聞く。
- ・最後まで話を聞き、途中で口をはさまない。

③自分の考えを伝える

☆考えをしっかり伝えることで、自分の理解を確かめることができます。

- ・声の大きさを考えて話す（隣の友達、グループ、学級など）
- ・みんなの方を向いて話す。
- ・自分がわかるところまでは、途中まででもいいので、しっかり話す。

●身につけさせたい発表の仕方

- | | |
|------------|---------------------------|
| ①ぼくは「わたしは」 | ～からだと思います。 |
| ②わけは | ～だからです。 |
| ③～さんに | つけたします。 |
| ④～さんの考え | にさんせいです。
ににしています。 |
| ⑤～さんの考え | にはんたいです。
とちがうところがあります。 |
| ⑥～さんに | しつもんがあります。 |

④学習に向かうために

- ・席を離れるときは、いすを入れる。
- ・5分休みや休み時間は、次の時間の教科書やノートを机の上に準備する。
- ・返事は大きな声ではっきりとする。

⑤ノートの使い方

☆次の点を基本とし、学年に応じた方法でノートを使います。

- ・ノートのサイズ、マス目の大きさ、罫線の広さなどは学年に合ったものを使用します。
- ・授業の記録としては、日にち・曜日、めあて、課題、まとめ、振り返りなどを学年の約束事に合わせて書きます。
- ・ノートは、行やマスをあけて見やすく書きます。また、必要に応じてメモなどが書けるようにします。
- ・ノートは最後の1ページまで丁寧に使います。
- ・学習シートなどを貼るときは、はみ出さないようにします。
- ・自分の考えや算数の文章題の筆算などは、間違ってもすぐには消さずに赤で直します。（どこが違っていたのかを自分で確かめることができます。）

1. 自主学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力を重ねていますが、家庭と連携することでより確かな力として定着すると考えます。そのためにも自主的に学習する習慣を身につけることが重要です。

そこで、子どもたちが普段どんなことをどのように学習したらよいかということについて手引きを作成することにしました。家庭学習への取り組み方が中心となりますが、自習時間や学びの場（放課後に行う自主学習）などでの取組にも生かすことができると考えます。

また、「自ら学習すること」が習慣となることで、中学以降で必要となる本来の「学び」につながっていくことも期待されます。

2. 自主学習のねらい

- 基礎的な学力を定着させ、学ぶ力を育てる。
- 自ら意欲的に学習する子どもを育てる。
- 何を学習したらよいかを判断し、自分で工夫して学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
- ※自主学習では、低学年は学習を習慣づけること、高学年では自ら学習内容を考える力をつけることを狙いとしています。このように6年間を通して自主学習の姿勢を培っていくことで、子どもたち一人一人に確かな「学び」を育むことにつながっていくと考えます。

3. 自主学習を通して育てたい子どもの姿

- 自ら意欲的に学習する児童
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童
- 生活時間の有効な使い方を身につけた児童
- 自主学習の習慣や方法を身につけた児童

4. 自主学習の習慣づけのために

(1) 自主学習のポイント

- ①時間を決めて、毎日必ず学習を。
- ②勉強するときは、テレビを消して。
- ③中学年以上の子どもは、学習の後「答え合わせ」（算数などの問題）「確かめ」（漢字など）まで。

①おうちの方へ…ご家庭での声かけを大切に。

- ・子どもがやり遂げられるように励ましの声かけをお願いします。
- ※できないところを指摘するのではなく、頑張りをほめてあげてください。
- ・子どもがわからないところを質問してきたら、わかる範囲で答えてあげてください。
- ※おうちの方がわからない場合は、次の日先生に聞くように声かけをしたり、(中学年以上)連絡帳に質問事項を書いてあげたり(低学年)してください。
- ・できるだけ子どもが学習したことに目を通してあげてください。
- ※お忙しいとは思いますが、子どもは親に見てもらえているという実感を持つことで、さらに意欲的になります。

②「答え合わせ」や「確かめ」をする意味

算数を例にとると、すでに学習した内容の計算問題を、「答え合わせ」をしなくて提出するのは、じつは、「やりっぱなし」にすぎません。勉強の途中で中断している状態です。本当の勉強は、自分で答え合わせをするところから始まるのです。「答え合わせ」をして、

○合っていた所は、すでに身についたところと捉え、

○間違ったところは、「どこの部分で間違えたのかな？正しい答えは△△だ。どうすればその答えになるのかな？」と、もう一度間違った問題にチャレンジし、正解を導くまで追究し、わからない場合は家の人や次の日先生に聞いて解決するという姿勢・・・

このことが本来の自主学習の姿だと考えます。そして小学校のうちにこの習慣を身につけることが、将来の「学ぶ力」に大切な要素となります。

(2) 学年の発達段階による自主学習の姿

低 学 年	中 学 年	高 学 年
学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。 ・少しずつ自分で「答え合わせ」ができる。 	自ら学習内容を考え、実行する <ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題が確実にできる。 ・宿題以外にも自主的な学習ができる。 ・自分で「答え合わせ」ができる。 	学習内容を工夫して、自分に必要な学習を行う <ul style="list-style-type: none"> ・自分で計画的に学習に取り組むことができる。 ・自分の興味や必要に応じた学習ができる。 ・自分で「答え合わせ」ができる。

(3) 自主学習のめやす

学年×10分 (例えば6年生なら10×6=60分)

※あくまで最低の目安です。休日や夏・冬休みなどは、1日に勉強する回数を課題と自主学習の2回にするなどして、さらに30分～60分程度増やせるとよいですね。

(4) 自主学習の内容 (こんな学習が考えられます。)

国 語	算 数	社会・理科・生活・総合
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・視写 ・言葉の意味しらべ ・日記 ・音読 ・テストの問題をもう一度解く。 <p style="text-align: right;">・・・等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や算数ドリルの問題 ・計算問題 ・百マス計算 ・自分で問題を作って解く ・生活の中から算数を見つける。(かさや長さ、時間の単位など) ・テストの問題をもう一度解く。 <p style="text-align: right;">・・・等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関係のあることを資料やネットなどで調べる。 ・授業で学習したことをもう一度要点をまとめたり、箇条書きにしたりする。 ・テストの問題をもう一度解く。 <p style="text-align: right;">・・・等</p>

他にも・・・

- ・新聞や読み物の感想をまとめる。
- ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて、県名・国名・県庁所在地・首都などの名前や位置を覚える。
- ・できる範囲で新聞に目を通し、世の中の動きを知る。
- ・自然や生き物とふれあい、観察する。
- ・さまざまな自然現象や化学変化などに興味を持ち、観察や簡単な実験をして確かめる。
- ・国語辞典や漢字辞典で、言葉や漢字の意味や成り立ち、使い方を調べる。
- ・図鑑や百科事典で興味のある事柄について調べる。
- ・教科書や教則本(ピポピポなど)の楽譜を見てリコーダーなどの練習。
- ・詩や歌の暗唱(例えば百人一首)

※大切なのは、苦勞して辞書や辞典で調べたり、実際にやってみたりして、経験値を増やしたり、自分で答えを見つけたりすることです。

自主学習について

※どの学年もチェックシートを使って、自主学習の確認をします。

1年生のじしゅがくしゅうについて

いえのひとといっしょによみましょう。

もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- まいにち10ふんいじょうは、がんばってがくしゅうしましょう。
- 土日やながい休みのときは、もうすこしがんばってみましょう。
- てれびをみないでやりましょう。

じしゅがくしゅうのまえに…

- ☆がっこうからのおてがみは、おうちの人にわたしましたか。
- ☆おべんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- ☆しせいやえんぴつのもちかたは、ただしいですか。

～こんながくしゅうを、こんなやりかたでやってみてはどうでしょう。～

がくしゅうないよう	やりかた
①もじのれんしゅう (ひらがな、かたかな、かんじ)	①ぷりんとや どりるのもんだいを よくよんでやりましょう。 ②おてほんの じのかたちをよくみて ていねいにこくかきます。「とめる」「はらう」「はねる」にきをつけてかきましよう。
②さんすうのもんだい	①ぷりんとや どりるのもんだいを よくよんでやりましょう。

●1年生は、フリントの宿題になります。

じしゅがくしゅうのあとに…

- じかんわりをたしかめて あすのじゅんぴをしましょう。(きょうかしよは?のおとは?)
- えんぴつはけずりましたか? けしごむはきれいですか?

2年生のじしゅ学しゅうについて

いえの人といっしょに読みましょう。

もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくたいをしましょう。
- 毎日20ぶんいじょうは、がんばってがくしゅうしましょう。
- 土日や長い休みのときは、もうすこしがんばってみましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

じしゅがくしゅうのまえに…

- ☆学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか。
- ☆おべんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- ☆しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか。

～こんながくしゅうを、こんなやりかたでやってみてはどうでしょう。～

がくしゅうないよう	やりかた
①かん字のれんしゅう	①プリントやドリル学習をします。 かん字を1ページ書きます。 読み方やおくりがなもたしかめましょう。 ていねいに書きましょう。
②さんすうのもんだい	①プリントやけいさんドリルの学習をします。 見直しをしましょう。

●2年生は、フリントの宿題になります。

じしゅがくしゅうのあとに…

- じかんわりをたしかめて あすのじゅんぴをしましょう。(きょうかしよは？のおとは？)
- えんぴつはけずりましたか？ けしごむはきれいですか？

3・4年生の自主学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目標

- 家に帰ったら、すぐに宿題をしましょう。
- 毎日3年生は30分以上・4年生は40分以上は、がんばって学習しましょう。
- 土日や長い休みのときは、もうすこしがんばってみましょう。
- 宿題以外でもできそうな学習にちょうせんしましょう。

家庭学習の前に…

- ☆学校からのお手紙は、家の人にわたしましたか。
- ☆お勉強する場所は、かたづいていますか。
- ☆しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか。

～こんながくしゅうを、こんなやりかたでやってみてはどうでしょう。～

学 習 な い よ う	や り か た
①漢字の練習	①プリントやドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ練習する。
②算数の問題	①プリントや 算数ドリルを学習をやってみる。 ②教科書の練習問題・力試しなどをノートに書いてやってみる。
③社会・理科など	①教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。

●3年生以上は、ドリルや自分でやってみたい内容を選んで取り組んでみましょう。

- ・算数は、習った問題については、やったままにせず、自分で○つけをして、まちがえたところは必ず直しましょう。
- ・漢字は、はじめのうちは、おうちの人にきょうりよくしてもらいますが、だんだん自分で○つけができるようになります。

自主学習の後に…

- 時間割を確かめて 明日の準備をしましょう。(教科書は？ノートは？)
- えんぴつはけずりましたか？ 消しゴムはきれいですか？

5・6年生の自主学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目標

- 家に帰ったら、すぐに宿題をしましょう。
- 毎日5年生は50分以上・6年生は60分以上は、がんばって学習しましょう。
- 土日や長い休みのときは、もうすこしがんばってみましょう。
- 学習習慣を確実に身に付けましょう。
- 自分に合った自主的な学習にも進んで取り組みましょう。

自主学習の前に…

- ☆学校からのお手紙は、家の人にわたしましたか。
- ☆勉強する場所は、きれいですか。
- ☆正しい姿勢になっていますか。
- ☆テレビやゲームのスイッチは消しましたか。

～こんながくしゅうを、こんなやりかたでやってみてはどうでしょう。～

学習ないよう	やりかた
①漢字の練習	①プリントやドリルを見て、正確に、ていねいに1行ずつ練習する。
②算数の問題	①プリントや算数ドリルを学習をやってみる。 ②教科書の練習問題・力試しなどをノートに書いてやってみる。
③社会・理科など	①教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。
④その日の復習に挑戦	①その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてやってみる。
⑤家にある問題集	①自分の家に問題集などがある場合は、それをやってみよう。

●3年生以上は、ドリルや自分でやってみたい内容を選んで取り組んでみましょう。

・漢字や算数は、習った問題については、やったままにせず、自分で○つけをして、まちがえたところは必ず直しましょう。

自主学習の後に…

- しっかり学習できたか振り返ってみよう。(時間は、内容は、姿勢は)
- 時間割を確かめて 明日の準備をしましょう。(教科書は？ノートは？)
- えんぴつはけずりましたか？ 消しゴムはきれいですか？